

議会日誌

2~4月

主なものを載せています

- 2月21日 日全員協議会
(長洲町英語教育視察)
- 3月1日 議会運営委員会
- 3月10日 } 定例議会
~16日 } (各常任委員会、全員協議会)
- 4月13日 広報常任委員会
- 4月14日 総務産業常任委員会
- 4月18日 地方創生特別委員会
- 4月20日 { 広報常任委員会
全員協議会
- 4月27日 広報常任委員会

Topic! 幼児英語教育導入・実践について

南関町議会は長洲町が平成28年4月より幼児英語教育を実践している現場を視察研修してきました。

幼稚園・保育所への遊びを通じた英語教育により、幼児期における「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」を養い、子供たちが心身ともに豊たかに成長することを目的として実施され、英語教育は小学校での英語の教科化や異文化に触れるという観点から適しており、幼児期における教育の充実、そして子ども達への平等な教育の提供を通じて、『生きる力』の育みに寄与する目的で始められています。

町内の全幼稚園・保育所(5施設)を週1回巡回(年間1施設37回程度)し、0歳から5歳まで(約570名)の子どもを対象に実施されていた。

授業内容は外国人を講師に年齢に合わせた授業を実施され、5歳児30分、4歳児25分、3歳児20分、1歳児~2歳児10分間で、外国人講師は滞在中、一切の日本語を使用しない徹底した教育内容であった。

また、長洲町では平成28年12月21日付けにて文部科学大臣からの教育課程特例校の指定を受け、平成29年度から町内の小学校での英語活動の導入(小1から小4まで)、英語の教科化(小5・小6)が実施されます。

南関町でも幼児からの英語教育を進めるにあたり、先行して進められた長洲町を研修してきました。このように幼児英語教育が進む中、南関町でも遅れを取らないよう幼児からの英語教育を実践する必要性を感じたところでありました。グローバル化した世界では英語は欠かせないものとなっているため、幼い時期からの英語教育は必要不可欠なものと考えられる。小学校では英語の教科化が実施されるが、小・中・高と一貫性を重視した取り組みとしても幼児からの英語教育を南関町も取り入れる必要性があります。

南関町もすでに教育環境に関しては、小・中学校には電子黒板やエアコンの設置も終わり、次はICT教育を取り入れた授業などを検討する時期と考えており、また、ICT教育は英語教育だけでなく、全ての教科にいかせられるため重要な課題として進めたい。幼児の英語教育は長洲町に一步遅れをとった形だが、長洲町に負けない充実した教育環境を整え、視察を行うのではなく視察に来てもらうような教育環境を整備していく必要がある。

(広報常任委員 杉村博明)



編集 集(広報調査常任委員会)

委員長 本田 眞二

副委員長 立山 秀喜

委員 杉村 博明

委員 立山 比呂志

発行責任者

議長 酒見 喬

ティーブレイク

編集後記



「ついに花粉の季節到来!」

いよいよ花粉が飛び交う季節がやってきて、花粉症の人にはつらい時期になってきた。日本人では、4人に1人が花粉症だと言われている。

ウェザーニューズの発表によると2017年のスギ、ヒノキの花粉飛散量は、平年より多くなる予想。特に西日本を中心に予想飛散量が平年の1.5倍となるエリアが目立っている。全国的に花粉飛散量が少なかった2016年と比べると一気に増加。夏の猛暑の影響を大きく受けて、西日本を中心に4~10倍となるエリアもある予想だ。そこで避暑地ならぬ「避粉地」が九州内にあった!そこは長崎県平戸市の離島「的山(あづち)大島」だ。目も鼻もぐしゅぐしゅ、頭もぼんやり憂鬱な季節も、すっきり快適に過ごせるパラダイスの様な避粉地について紹介しました。他にも北海道、沖縄が快適に過ごせます。

(立山秀喜)